

講社通信

楼門の屋根葺き替え工事竣工

以前お伝えしました通り、この五月から九月にかけて楼門の屋根



葺き替え工事が行われ、九月末に竣工し、赤茶色の銅板屋根に一新しました。従来の楼門の屋根は昭和二十八年に不審火で半焼してから再建し、昭和三十一年九月に竣工してまいりますので、ちょうど六十年ぶりのこととなります。再建以前は朱塗りではなく内外拝殿等と同じく白木で、屋根は檜皮葺きでした。

つた雪が一度に落ちて危険なこともありますが、いくらかは緩和されるものと思います。

大津宮遷都一三五〇年

明年・平成二十九年（西

暦二〇一七年）は天智天皇

の古都近江大津宮（大津

京）遷都の六六七年から満

一三五〇年となります。天

智天皇は先帝斉明天皇の崩

近江神宮日供神饌講
新版第二十六号
平成二十八年十二月十日

天智天皇と額田王の時代を錦木靖将の絵で見る

大津京展

とき 二〇一七年
九月一日（土）～十月三十一日（日）
ところ 近江神宮 宝物館 特別公開

東暦二〇一七年は
大津京遷都
千三五〇年です。

二〇一七年六月四日の
大津市民会館での
記念式典へ
「大津京遷都」を記念として
「大津京展」を開催いたします。

主催 近江神宮 宝物館 特別公開
企画 大津市への歴史教育委員会
人権擁護委員 大津市 大津市教育委員会
協賛 大津市 大津市教育委員会
協賛 大津市 大津市教育委員会

今回は屋根の前後には雪留め（屋根下部の突起）を設け、左右には雨樋を設けました。屋根に積

御の後、称制として正式な即位を遅らせてこられました。この大津宮に遷都した最初の正月に即位なされました。大津宮に都を置いて数々の新政治を行われたことが律令国家への出発点となり、近江国・大津の発展の源流となりました。

大津京遷都一三五〇年の年に先だって、大津京の道実行委員会の主催（近江神宮共催）により、日本画家で三橋節子美術館館長の鈴木靖将氏による「天智天皇と額田王の時代を鈴木靖将の絵で見る大津京展」が、九月一日から十月三十日まで、時計館宝物館で開催されました。

大津京 遷都千三百五十年
祝賀記念ブレコンサート

礼し各社に祀るまほ、**「和と祭のロマンホールコンサート」**
近江神宮 篝火コンサート

平成 29年 3月 25日（土）17:00 開場 / 17:30 開演
於：近江神宮 能舞台（屋外拝殿の間） <平舞台：3月26日（日）>
入場料：3,000円/ペアチケット5,000円

出演者
指揮 久保 美知子 演奏 中村 三智子 指揮 佐藤 尚雄
フルート 中山 俊彦子、ピアノ 岸本 洋美 笙 ターニ 伊藤 幸一
サクソフォーン 中村 三智子 指揮 佐藤 尚雄
ソプラノ 藤原 節子 琵琶 佐々木 美津子 フルート 中村 三智子
ピアノ 岸本 洋美 長笛 西村 洋子 尺八 岸本 洋美
タムタム 岸本 洋美 パーカッション 佐藤 尚雄

プログラム
祝賀の歌、祝詞、和の歌による狂言、祝詞、舞踊 Recitalo Rossa
祝賀の歌、祝詞、和の歌による狂言、祝詞、舞踊 Recitalo Rossa
祝賀の歌、祝詞、和の歌による狂言、祝詞、舞踊 Recitalo Rossa
祝賀の歌、祝詞、和の歌による狂言、祝詞、舞踊 Recitalo Rossa

主催 近江神宮 宝物館 特別公開
企画 大津市への歴史教育委員会
人権擁護委員 大津市 大津市教育委員会
協賛 大津市 大津市教育委員会
協賛 大津市 大津市教育委員会

京」の公演、ほかにも各種の行事が予定されています。

節分の方相氏と鬼

旧暦（太陰太陽暦）では、月の満ち欠けによって月日が決まっているため、太陽の動きによって決まる実際の季節の移り変わりには合わず、閏月の前後で一月程の差ができます。そのため季節の目安にするため二十四節気が用いられ、十二月末日から一月一日への年越しと立春を年初とする一年の節分から立春への年替わりとが二重

このほか、
明年は三月二十五日に近江神宮拝殿中庭で篝火コンサートが、四月二十九日にもコンサートと講演会が、六月四日に音楽物語「大津

になっていました。「年の内に春は来にけり」という古今集巻頭の在原元方の歌があるとおり、年内に立春が来るのはごく普通のことでした。明治初年、太陽暦の採用にともない、太陽暦の年替わりが加わって、年越しの意識がさらに複雑になりました。近年では年越しは太陽暦の年越しで、立春の前日の節分は節分行事という別のものであると思う人が多いかもしれません。しかし本来は年末の大祓も立春前の節分も年越しに当って邪気を祓う同じ意味を持ったものでした。



鬼の相貌をしています。これは方相氏は邪悪な鬼を退治するため奇怪で恐怖の容貌を持ったものとされ、本来鬼というのは邪悪なものを鬼と呼んだもので形のないものであったため、退治する役目の方相氏の形が逆に鬼のように考えられるようになったといわれています。近江神宮には四つではなく六つの目の方相氏の面があり、二つづつの目で現在過去未来を見通すとされています。

鶏の縁起と太鼓鶏

十二支の酉は時刻では日没のころを指しますが、動物に当てはめた鶏は鶏鳴によって暁を知らせる夜明けの動物とされています。一番鶏は丑の刻（午前二時ころ）、二番鶏は寅の刻（午前四時ころ）といえます。

日本の神話では、天照大神が天の岩戸に隠れて世界が暗闇となり、夜ばかりが続いたとき、常世の長鳴鳥に鳴かせて朝を呼び起こそうとしたことが伝えられています。神々や精霊の時間である夜と人の



はそのような神聖な時告げ鳥でした。

上に鶏が乗った太鼓を太鼓鶏といい、天下泰平の縁起物とされています。朝明けを呼ぶ鶏鳴と十二支を表わした太鼓鶏の土鈴を、時の祖神にちなんだ近江神宮の縁起物として授与しています。

活動する時間である昼間との境目を知らせる霊鳥とされ、鶏鳴によって無理やりに朝を訪れさせ、魔物を追い払うことができると考えられていたわけです。また木綿付鳥（ゆふつけどり）といい、都の四方で御幣を付けた鶏を供えて、疫病や悪鬼が入り込まないように祭りに行ったといわれています。鶏

年末年始の祭典等

- 十二月十三日午前九時 門松立て
- 十二月二十日午前九時 煤払祭
- 十二月二十三日午前十時 天長節祭
- 十二月三十一日午後三時 年越大祓式（続いて）除夜祭
- 一月一日午前〇時 歳旦祭（さいたんさい）
- 一月一日午前七時二分 初日の出遥拝式
- 一月二日午前八時三十分 日供始祭（につくはじめさい）
- 一月三日午前八時三十分 元始祭（げんしさい）
- 一月七日午前九時 昭和天皇祭遙拝式
- 一月七日午前十時 かるた名人位クイーン位決定戦
- 一月八日午前九時 かるた祭・高松宮記念杯全国競技かるた大会
- 一月十日午前八時三十分 天智天皇祭（天智天皇のご命日）
- 一月十五日午前十時 古神札焼納祭
- 二月三日午前十時 節分祭
- 二月十一日午前十時 紀元節祭